

ALBIT®

ALL BASICS IN TECHNOLOGY OF SOUND

3CH.TUBE GUITAR PRE-AMP A3GP

取扱説明書

この度は、A3GPをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
A3GPは、昔ながらのギター本来の音を忠実に再現する為に開発され、TUBE+半導体で回路構成をした、まるでハイスペックな高額アンプのプリアンプ部分を小型化したかのような、プロフェッショナル仕様のプリアンプです。音の立ち上がり・音の輪郭・音の抜け等、楽器用のアンプとしての基本を高次元で再現する為に、回路構成上、部品の特性を活かしたサーキットデザインで、楽器本来の持つ本当の音の良さを忠実に再現した3CH. GUITAR PRE-AMPの誕生です。



※規格及び外観は改良の為、予告なく変更する事があります。

【製品仕様】
電源：AC9V (付属専用アダプター)
コントロール：VOLUME・TREBLE・MID・BASS・CROSS・SEND
CRUNCH・LEAD・MASTER/RETURN・(DRIVE, CH)・SUB, MASTER
インジケータ：MUTE (RED)・POWER (BLUE)・DRIVE (RED)・
CRUNCH (GREEN)・LEAD (RED)
端子：INPUT・TUNER OUT・SEND・RETURN・OUTPUT・H/P BALANCE・
AC, ADP, JACK・AUX IN
入カインピーダンス：470kΩ
出カインピーダンス：UNBALANCE OUT=470Ω/BALANCE OUT=100Ω
標準出力電圧：+4dbm
外形寸法：150mm (W) × 106mm (D) × 61mm (H)
本体重量：640g
付属品：AC/AC付属専用アダプター・取扱説明書・保証書

【各部機能】

INPUT-----楽器を接続するハイインピーダンスの入力端子で、アクティブ・パッシブのどちらでも接続可能です。
TUNER-----チューニングメーターを接続する端子です。
SEND JACK-----エフェクターのインプットに接続します。
RETURN JACK-----エフェクトループのリターンジャックで、エフェクターのアウトプットより接続します。
OUTPUT-----出力ジャックです。
H.P./BALANCE-----インピーダンスが30Ω以上のヘッドフォンまたは、フォンプラグによるバランスアウトとして主にミキサー送り等に使用します。※このヘッドフォン端子はラインアウトの出力を代用している為、ヘッドフォンのL/Rの位相が逆になっています。ご了承お願いいたします。
AC9V-----必ず付属の専用アダプターを使用して下さい。他のアダプターを使用すると破損します。専用アダプターを接続すると、青いLEDが点灯します。
VOLUME-----CREANチャンネルのボリュームで、音量を調整します。
TREBLE-----高音域を調整するコントロールで、センターでフラットになり右でブーストし、左でカットします。
MID-----中音域を調整するコントロールで、センターでフラットになり右でブーストし、左でカットします。
BASS-----低音域を調整するコントロールで、センターでフラットになり右でブーストし、左でカットします。
CROSS-----トーンコントロールのTREBLEとBASSが交差する部分のMIDの位置を、低域から中高域へと移動させるコントロールで、NORMALの位置でアメリカを代表するアンプのトーンコントロール風から、MODERNの位置でイギリスを代表するアンプのトーンコントロール風に変化する独自のコントロールです。
SEND-----接続されたエフェクターに信号を送り出すコントロールで、エフェクターが歪む直前まで上げてください。

CRUNCH-----CRUNCHチャンネルのGAINボリュームです。
LEAD-----LEADチャンネルのGAINボリュームです。
SUB-MASTER-----CRUNCH/LEADチャンネルの音量を、CREANチャンネルに合わせる為のボリュームです。
MASTER/RETURN-----全体の音量をコントロールするツマミで、各々セットアップされたレベルを変える事なく、音量を調整します。また、SEND/RETURNにエフェクターを接続した場合は、MASTERを兼ねたRETURNコントロールになります。
MUTE-----チューニング時等、音を消したい時にONにします。MUTE時は、スイッチ左側の赤いLEDが点灯します。
CRUNCH/LEAD SEL.SW-----CRUNCH/LEAD各チャンネルの切替スイッチです。
CLEAN/DRIVE SEL.SW-----CLEAN/DRIVEの切替スイッチです。
AUX IN-----ヘッドフォンステレオのヘッドフォン出力端子を接続する事によって、音楽ソースによる夜間練習も可能です。尚、このヘッドフォン出力は、モノラルで再生し、ステレオにはなりません。ヘッドフォンステレオの音量調整は、ヘッドフォンステレオ側で行ってください。この入力に対する、A3GPの機能するコントロールは、MUTEスイッチのみです。

※3チャンネルで使用する場合

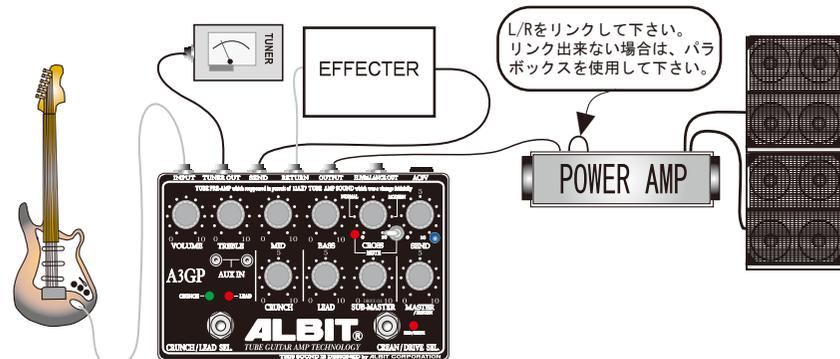
①CREANチャンネルのVOLUMEとMASTERであらかじめ全体の音量を決め、CREAN/DRIVE SELスイッチをONにし、スイッチ右脇の赤いLEDを点灯させ、DRIVEチャンネルに切り替えます。

②SUB-MASTERをあらかじめ、1ないし2前後にセットし、左側のCRUNCH/LEAD SELスイッチでCRUNCHチャンネル、及びLEADチャンネルのGAINを調整して下さい。

CREANチャンネルのVOLUMEは、CRUNCH/LEADのサウンドを太くする目的で、CRUNCH/LEADチャンネル側でも作動していますので、CREANチャンネルを使用しないでCRUNCH/LEADチャンネルだけの使用でも、CREANチャンネルのVOLUMEを上げて使用するのも、サウンドを向上させる方法になります。

【使用例】

SEND・RETURNにエフェクターを接続した基本的な使用例です。
下のイラストは、エフェクターを使用し、TUNERも接続しております。A3GPのOUTPUTより、POWER AMPのINPUTに接続していただき、POWER AMPのSP OUTより、エンクロージャーへ接続してください。



※アンプのRETURNへ接続する場合、LEVEL切替スイッチがあれば、必ず0db~+4dbで使用してください。-20dbでの使用は、アンプ本体がクリップしてしまい、A3GPの性能を100%発揮できませんのでご注意ください。

【お問い合わせ先】

■ALBIT・Cranetortoise製品全般及び修理に関するお問い合わせ先
TEL:048-928-1637 FAX:048-922-5742

■ALBIT・Cranetortoise製品全般の修理送り先
〒340-0035
埼玉県草加市西町1382-3 アルビットコーポレーション

■メールのお問い合わせ先 info@albit.jp
■最新情報はホームページにて http://www.albit.jp

